



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月1日

上場会社名 ローム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6963 URL <https://www.rohm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 CEO (氏名) 松本 功  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 CSO 兼 (氏名) 伊野 和英 TEL 075-311-2121  
 経理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 2022年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	259,912	16.7	50,403	46.0	70,913	87.3	52,126	69.2
2022年3月期第2四半期	222,657	32.5	34,513	172.0	37,863	220.9	30,802	145.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 82,086百万円 (164.2%) 2022年3月期第2四半期 31,071百万円 (21.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	531.14	514.99
2022年3月期第2四半期	313.87	304.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,104,884	911,661	82.5
2022年3月期	1,029,132	840,353	81.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 911,119百万円 2022年3月期 839,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	75.00	—	110.00	185.00
2023年3月期	—	100.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	15.0	90,000	25.9	105,000	27.2	80,000	19.7	815.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	103,000,000株	2022年3月期	103,000,000株
2023年3月期2Q	4,856,801株	2022年3月期	4,861,656株
2023年3月期2Q	98,140,495株	2022年3月期2Q	98,136,776株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(四半期連結損益計算書) .....	7
(四半期連結包括利益計算書) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10

※ 補足説明資料としまして、「2023年3月期 第2四半期決算概要」を別途添付しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

#### 業績の全般的概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国におけるゼロコロナ政策やロシアによるウクライナ侵攻、米国を中心としたインフレーションによる影響もあり、減速感が強まってきております。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車関連市場は半導体不足による減速感が有りますが、脱炭素社会に向けた電動化・電装化の拡大が継続し、産業機器関連市場でも各国における工場の自動化・デジタル化投資が拡大し堅調に推移しました。一方、民生機器関連市場や通信機器関連市場、コンピュータ&ストレージ市場では需要の一巡による市況の悪化が見られた結果、全体としてはまだら模様の景気回復となりました。

このような経営環境の中、中長期的に成長が期待される自動車関連市場や産業機器関連市場などに向けてロームグループが強みを持つ「パワー」、「アナログ」及び「汎用デバイス」の新製品・新技術の開発を進め、お客様の省エネ・小型化に広く貢献できるトータルソリューションでの提案を推進しました。

生産面においても、継続して全社最適化を進めるとともに、「モノづくり改革」による省人化・自動化ラインの構築を推し進めました。また、急増する受注に対応した生産能力増強や生産性向上を進めるなど、お客様への安定供給に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は自動車関連市場及び産業機器関連市場を中心に増加し、前年同期比16.7%増の2,599億1千2百万円、営業利益は前年同期比46.0%増の504億3百万円となりました。当第2四半期連結累計期間の営業利益率は前第2四半期連結累計期間の15.5%から19.4%に上昇しました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、為替差益の増加により、前年同期比87.3%増の709億1千3百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比69.2%増の521億2千6百万円となりました。

またロームグループで重視している経営指標について、当第2四半期連結累計期間のEBITDA（※）は前年同期比40.8%増の752億5千5百万円となりました。

※ EBITDA (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて求めたもの。グローバル企業などの収益力を比較する際によく利用される指標。ロームグループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

#### 業績のセグメント別概況

##### <LSI>

市場別では、自動車関連市場向けで、ADASやインフォテインメント向けの電源ICなどでシェアが拡大し、さらに電動車の普及加速に伴い絶縁ゲートドライバICなど高付加価値商品が順調に売上を伸ばしました。また、産業機器関連市場向けでは、活況な設備投資により堅調に推移しました。

これらに加え円安進行もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,170億1千8百万円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益は257億9千7百万円（前年同期比77.7%増）となりました。

##### <半導体素子>

事業セグメント別では、ダイオード、パワーデバイスにつきましては、自動車関連市場向けを中心に好調に推移し、トランジスタにつきましては産業機器関連市場やPC向けで堅調に推移しました。また、発光ダイオードにつきましては、民生機器関連市場向けで売上が増加しましたが、半導体レーザーにつきましては、産業機器関連市場向け等で売上が減少しました。

これらに加え円安進行もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,095億1千5百万円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益は189億4千5百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

<モジュール>

事業セグメント別では、プリントヘッドにつきましては、プリンタ向けなどで売上が増加し、オプティカルモジュールにつきましては、自動車関連市場向けにLEDモジュールの売上が増加しました。

これらに加え円安進行もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は182億3千7百万円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益は28億4千8百万円（前年同期比44.5%増）となりました。

<その他>

事業セグメント別では、抵抗器につきましては、自動車関連市場向けの高信頼品が好調に推移しました。

これらに加え円安進行もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は151億4千万円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は30億8千万円（前年同期比14.8%増）となりました。

上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ757億5千2百万円増加し、1兆1,048億8千4百万円となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産が323億3千万円、現金及び預金が304億6千7百万円、棚卸資産が229億8千6百万円、受取手形及び売掛金が127億1千4百万円、それぞれ増加した一方、有価証券が152億1百万円、投資有価証券が102億5千5百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ44億4千5百万円増加し、1,932億2千3百万円となりました。主な要因といたしましては、未払法人税等が75億8千7百万円、流動負債のその他が32億6千3百万円（うち未払費用が21億9千3百万円）、それぞれ増加した一方、未払金が58億3百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ713億8百万円増加し、9,116億6千1百万円となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により株主資本が413億7千6百万円、為替換算調整勘定が346億9千1百万円、それぞれ増加した一方、その他有価証券評価差額金が49億9千2百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.6%から82.5%に上昇しました。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（464億9千2百万円のプラス）に比べ54億5千3百万円収入が増加し、519億4千5百万円のプラスとなりました。これは主に、プラス要因として税金等調整前四半期純利益の増加、マイナス要因として棚卸資産の増加額の増加、法人税等の支払額の増加、仕入債務が増加から減少に転じたことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（262億4千1百万円のマイナス）に比べ320億4百万円支出が増加し、582億4千5百万円のマイナスとなりました。これは主に、プラス要因として有価証券及び投資有価証券の取得による支出の減少、マイナス要因として有形固定資産の取得による支出の増加、定期預金が減少から増加に転じたことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（81億9千2百万円のマイナス）に比べ34億3千2百万円支出が増加し、116億2千4百万円のマイナスとなりました。これは主に、マイナス要因として配当金の支払額の増加によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、上記の要因に換算差額による増加が158億8千8百万円加わり、前連結会計年度末に比べ20億3千5百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2,931億8千7百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻やインフレーションなどによる景気後退懸念があり、不透明な状況が続くものと思われます。エレクトロニクス市場においては、エネルギー対策としての省エネ化や電装化の促進、各国における工場の自動化・デジタル化投資などは順調に推移するものと思われますが、一方でエネルギーや資材価格の高騰等による材料費や経費のコストアップリスク、製造に必要な希ガスや希少金属材料等の調達における地政学リスク、新型コロナウイルス感染症の再流行リスク等があり、予断を許さない状況が続くものと思われます。

こうした状況の中、ロームグループでは引き続き中長期での成長が期待される自動車関連市場や産業機器関連市場にロームグループが強みを持つ「パワー」、「アナログ」及び「汎用デバイス」を供給するとともに、安定した生産体制の構築に努めてまいります。

このような状況の中、産業界全体の省エネ化及び自動車関連市場等の成長や期初想定以上の円安進行により2023年3月期の売上及び利益は期初の想定を上回る見通しであるため、2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

<連結業績予想>

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	前期比増減率
売 上 高	4,521億円	5,200億円	+15.0%
営 業 利 益	714億円	900億円	+25.9%
経 常 利 益	825億円	1,050億円	+27.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	668億円	800億円	+19.7%

<セグメント別連結売上高予想>

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	前期比増減率
L S I	2,038億円	2,391億円	+17.3%
半 導 体 素 子	1,880億円	2,187億円	+16.3%
モ ジ ュ ー ル	328億円	353億円	+7.7%
そ の 他	272億円	267億円	△2.0%

下期の為替レートは、1米ドル=135円を前提としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	293,144	323,611
受取手形及び売掛金	100,151	112,865
電子記録債権	8,644	8,788
有価証券	49,256	34,055
商品及び製品	39,678	46,296
仕掛品	61,675	71,042
原材料及び貯蔵品	53,135	60,136
未収還付法人税等	1,026	1,105
その他	13,342	15,069
貸倒引当金	△49	△60
流動資産合計	620,004	672,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	280,843	293,795
機械装置及び運搬具	664,295	722,096
工具、器具及び備品	57,176	60,300
土地	68,421	67,999
建設仮勘定	41,760	50,210
その他	8,543	9,470
減価償却累計額	△828,950	△879,453
有形固定資産合計	292,090	324,420
無形固定資産		
のれん	795	646
その他	4,471	4,306
無形固定資産合計	5,266	4,952
投資その他の資産		
投資有価証券	87,506	77,251
退職給付に係る資産	3,176	3,289
繰延税金資産	11,310	12,286
その他	9,846	9,847
貸倒引当金	△69	△74
投資その他の資産合計	111,770	102,600
固定資産合計	409,127	431,973
資産合計	1,029,132	1,104,884

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,105	18,211
電子記録債務	4,929	4,375
未払金	36,131	30,328
未払法人税等	11,472	19,059
その他	35,237	38,500
流動負債合計	105,877	110,475
固定負債		
社債	40,536	40,435
繰延税金負債	28,983	28,725
退職給付に係る負債	11,092	11,425
その他	2,289	2,162
固定負債合計	82,901	82,748
負債合計	188,778	193,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,411	102,416
利益剰余金	661,386	702,717
自己株式	△39,915	△39,876
株主資本合計	810,851	852,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,314	34,322
為替換算調整勘定	△8,294	26,397
退職給付に係る調整累計額	△2,054	△1,827
その他の包括利益累計額合計	28,965	58,892
非支配株主持分	536	541
純資産合計	840,353	911,661
負債純資産合計	1,029,132	1,104,884

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上高	222,657	259,912
売上原価	146,577	160,999
売上総利益	76,079	98,912
販売費及び一般管理費	41,566	48,508
営業利益	34,513	50,403
営業外収益		
受取利息	592	1,234
受取配当金	408	524
為替差益	2,066	17,934
その他	376	930
営業外収益合計	3,442	20,623
営業外費用		
支払利息	66	63
和解金	—	15
その他	25	34
営業外費用合計	92	114
経常利益	37,863	70,913
特別利益		
固定資産売却益	422	1,270
投資有価証券売却益	359	—
補助金収入	100	—
特別利益合計	882	1,270
特別損失		
固定資産売却損	12	17
固定資産廃棄損	216	90
固定資産圧縮損	100	—
減損損失	33	36
投資有価証券評価損	—	318
特別損失合計	363	462
税金等調整前四半期純利益	38,382	71,720
法人税、住民税及び事業税	8,115	18,425
法人税等調整額	△544	1,151
法人税等合計	7,570	19,577
四半期純利益	30,812	52,143
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,802	52,126

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	30,812	52,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,297	△4,991
為替換算調整勘定	△2,491	34,707
退職給付に係る調整額	453	227
その他の包括利益合計	259	29,942
四半期包括利益	31,071	82,086
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,073	82,053
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	32

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	38,382	71,720
減価償却費	18,918	24,851
減損損失	33	36
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△84	8
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	596	243
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△105	47
受取利息及び受取配当金	△1,000	△1,758
為替差損益（△は益）	△231	△7,008
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	△359	—
有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益）	—	318
固定資産売却損益（△は益）	△409	△1,252
売上債権の増減額（△は増加）	△10,969	△7,129
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,194	△15,018
仕入債務の増減額（△は減少）	1,630	△5,400
未払金の増減額（△は減少）	291	△561
その他	2,234	2,458
小計	47,731	61,554
利息及び配当金の受取額	952	1,554
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,186	△11,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,492	51,945
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	2,782	△13,076
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△8,780	△1,829
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	8,532	6,847
有形固定資産の取得による支出	△28,374	△51,149
有形固定資産の売却による収入	726	2,116
その他	△1,127	△1,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,241	△58,245
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△5	△1
配当金の支払額	△7,360	△10,795
その他	△826	△826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,192	△11,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,001	15,888
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	11,057	△2,035
現金及び現金同等物の期首残高	262,168	295,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	273,225	293,187

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュール	計				
売上高								
国内	38,327	27,568	3,214	69,110	2,231	71,342	—	71,342
アジア	53,959	52,235	10,668	116,863	9,133	125,996	—	125,996
アメリカ	3,974	4,667	552	9,194	1,165	10,359	—	10,359
ヨーロッパ	3,653	8,761	1,248	13,663	1,295	14,958	—	14,958
顧客との契約から 生じる収益	99,914	93,232	15,684	208,831	13,826	222,657	—	222,657
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	99,914	93,232	15,684	208,831	13,826	222,657	—	222,657
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,220	1,966	18	3,205	39	3,244	△3,244	—
計	101,135	95,199	15,702	212,037	13,865	225,902	△3,244	222,657
セグメント利益	14,519	15,447	1,971	31,938	2,684	34,622	△109	34,513

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△109百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△379百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）270百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュー ル	計				
売上高								
国内	39,704	28,368	3,820	71,893	2,284	74,177	—	74,177
アジア	67,816	61,889	12,090	141,795	9,284	151,080	—	151,080
アメリカ	5,282	5,643	851	11,776	2,012	13,789	—	13,789
ヨーロッパ	4,215	13,614	1,475	19,305	1,559	20,864	—	20,864
顧客との契約から 生じる収益	117,018	109,515	18,237	244,771	15,140	259,912	—	259,912
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	117,018	109,515	18,237	244,771	15,140	259,912	—	259,912
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,449	1,782	—	3,232	25	3,258	△3,258	—
計	118,468	111,298	18,237	248,003	15,166	263,170	△3,258	259,912
セグメント利益	25,797	18,945	2,848	47,590	3,080	50,671	△268	50,403

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△268百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△551百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）283百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ローム株式会社 2023年3月期 第2四半期決算概要 (2022年4月1日から2022年9月30日まで)

2022年11月1日

連結業績		(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)								
		23/3期実績 第2四半期 累計期間	22/3期実績 第2四半期 累計期間	対前年同期増減		22/3期実績 通期	23/3期計画 通期	(注)1 対前期 増減率		
				額	率					
売	上	高 百万円	259,912	222,657	+37,255	+16.7%	452,124	520,000	+15.0%	
売	上	原 価 百万円	160,999	146,577	+14,422	+9.8%	289,803	330,600		
販	売	費 及 び 一 般 管 理 費 百万円	48,508	41,566	+6,942	+16.7%	90,841	99,400		
営	業	利 益 百万円	50,403 (19.4%)	34,513 (15.5%)	+15,890 (+3.9%)	+46.0%	71,479 (15.8%)	90,000 (17.3%)	+25.9%	
経	常	利 益 百万円	70,913 (27.3%)	37,863 (17.0%)	+33,050 (+10.3%)	+87.3%	82,551 (18.3%)	105,000 (20.2%)	+27.2%	
親	会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	百万円	52,126 (20.1%)	30,802 (13.8%)	+21,324 (+6.3%)	+69.2%	66,827 (14.8%)	80,000 (15.4%)	+19.7%	
( )内は売上高比率										
1	株 当 た り 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	円	531.14	313.87	+217.27	+69.2%	680.62	815.15	+19.8%	
	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	%					8.3			
	総 資 産 当 期 純 利 益 率	%					6.8			
1	株 当 た り 純 資 産	円	9,283.58	8,077.64	+1,205.94	+14.9%	8,557.15			
E	B	I	T	D	A (注)2	百万円	75,255	53,432	+21,823 +40.8%	113,507 148,500 +30.8%
設	備	投	資	額	百万円	49,157	27,279	+21,878 +80.2%	79,985 120,000 +50.0%	
減	価	償	却	額	百万円	24,851	18,918	+5,933 +31.4%	42,027 58,500 +39.2%	
研	究	開	発	費	百万円	19,896	17,510	+2,386 +13.6%	36,126 40,100 +11.0%	
為	替	差	損	益	百万円 (益)	17,934	(益)2,066	(益)15,868	(益)8,090	
為	替	レ	ー	ト (US\$ 期 中 平 均 レー	ト) 円/US\$	133.46	110.18	+23.28 +21.1%	112.86 134.17	

(注) 1.計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
2.営業利益に減価償却費を加えて算出しております。